

「効果の見える治水事業」
高知県 仁井田川広域河川改修事業



高知県須崎土木事務所四万十町事務所長 武内 盛久



一級河川渡川水系四万十川の一次支川である仁井田川は、流路延長 17.1 km、流域面積 64.15 km²で、県内屈指の優良な農業地帯「高南台地」を大きく蛇行し、清流四万十川へ合流しています。

当河川では、度々、浸水被害が発生しており、近年では、平成 16 年 8 月（台風 10 号）に、床上浸水 17 戸、床下浸水 27 戸のほか、旧国道の冠水や農地が浸水被害を被っています。度重なる浸水被害を軽減するため、昭和 57 年から事業に着手し、以来、継続的に河川改修工事を行っています。

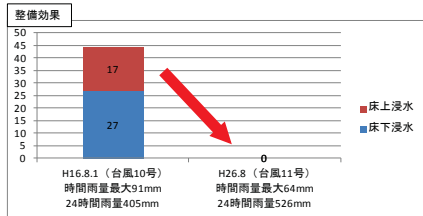
仁井田川の河川改修事業は、四万十川合流点より上流約 6.5km 地点から 2.6km が改修対象区間であり、現在約 1.6km が完了しています。

平成 26 年 8 月（台風 11 号）には、平成 16 年の台風 10 号の時と比べると 100mm 以上多い 24 時間雨量を記録しましたが、浸水被害はなく、可動化された堰と護岸の改修による整備効果が発現されました。

残りの改修工事が完了することで、さらに浸水被害は軽減され、地域の安全と安心に貢献できると考えています。

最後になりましたが、事業に協力して頂いた地域住民の皆さまをはじめ、関係機関の方々に深く感謝申し上げます。

過去の出水	1時間雨量	24時間雨量
H16.8(台風10号)	91mm	405mm
H26.8(台風11号)	64mm	526mm



治水事業推進と、おいしい米『仁井田米』



四万十町長 中尾 博憲

四万十町は、高知県中西部に位置し、平成 18 年 3 月の 3 町村の合併により、面積では淡路島より広い高知県下最大 642 km²の町として誕生しました。北は四国山脈を背にし、南は太平洋に面し、その中央を清流四万十川が東から西へと大きく蛇行しながら流れており、全国に誇れる豊かな自然に恵まれています。

「仁井田米の里」で知られる仁井田地区を流れる四万十川支流の仁井田川は豪雨のたびに氾濫し被害を引き起こしていました。近年では、平成 16 年 8 月の台風 10 号の豪雨により多数の家屋が浸水し、国道等の冠水、並びに農地 11.7ha が浸水する被害を受け、また、同年 10 月の台風 23 号でも同様の浸水被害を受けました。これを機に、高知県が施工する河川改修事業の早期完成の声が地元住民よりあがり、関係する区長および各集落より選出された会員による仁井田地区河川改修協議会が結成され、地域住民と行政との重要な調整役として治水事業推進に尽力してくれました。これにより、河川氾濫の主な要因であった平串堰（固定堰）の可動化という大規模工事も平成 20 年度に完成し、平成 26 年 8 月の台風 23 号の豪雨により窪川街分地区を流れる吉見川の氾濫で 201 戸の家屋に浸水被害が発生した時も、仁井田川流域は、河川改修事業の効果により、氾濫被害もなく安心しました。



平串堰（可動堰）

また、仁井田川のある高南台地は、昼間は気温が高く、夜になると急激に寒くなるという気温差があり、さらに日照時間も長いことから、県下屈指のおいしい米「仁井田米」が育つ地域として県内で名を馳せています。近年は、「お米日本一コンテスト」で特別最高金賞、「全国米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で金賞、「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」においては、連年金賞受賞を果たし、全国的にもその美味・良質米としての高い評価を受けています。

今後は、仁井田川河川改修事業によって洪水被害を受ける心配が無くなった高南台地で安心して「仁井田米」の生産が続くと確信しています。



仁井田米